

海外安全対策情報
2016年4月～6月

在オークランド総領事館

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

(1) ニュージーランド国内の治安情勢

ニュージーランド国内では、これまで大きな治安上の問題は起きていません。しかし、犯罪の発生率については、日本のそれと比較した場合、犯罪認知件数自体はやや減少傾向ではあるものの依然として高く(2014年のNZ全土における犯罪の発生率は日本の約8.6倍)、防犯対策には十分な注意が必要です。

(2) 地図で見る犯罪発生件数

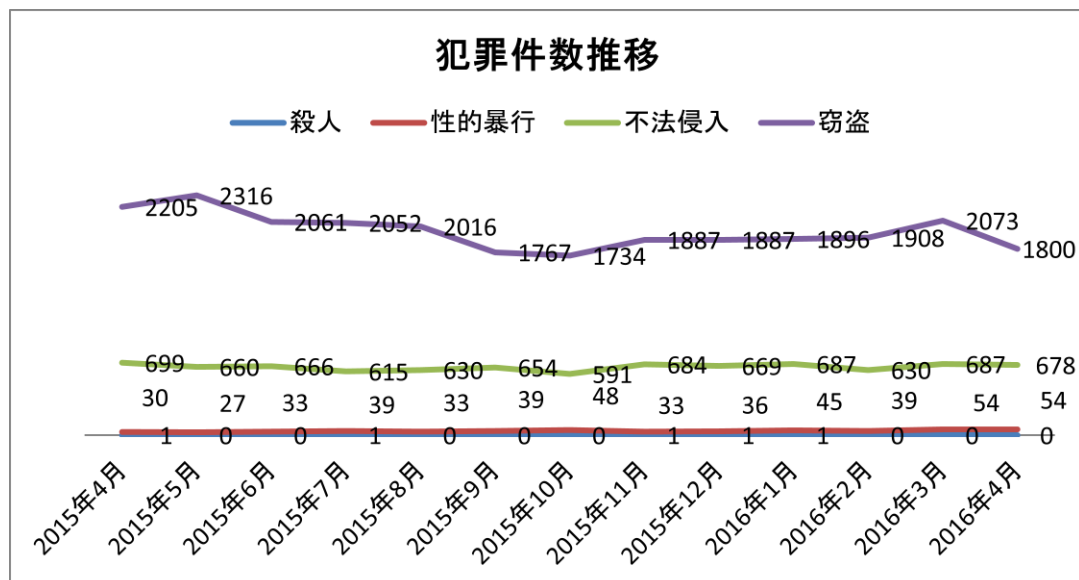
6月10日、NZ HERALD紙はウェブサイトにて「地図で見る犯罪発生件数」を掲載しました。下記リンクにアクセスして、あなたがお住まいの地域の状況をチェックしてみてください。

<http://insights.nzherald.co.nz/article/assaults-in-public-places>



(3) オークランドの犯罪傾向

オークランド警察が発表した犯罪件数の推移は次の通りです。



2 テロ・爆弾事件発生状況

(1) ニュージーランド国内には、テロ組織及び反政府武装勢力の存在は確認されておらず、国外のテロ組織と関連を有している勢力の存在も確認されていません。しかしながら、2014年11月、ジョン・キー首相はISILに関する講演の中で、「ニュージーランド国民は国際テロリズムの危機と脅威にさらされている」と発言しています。

(2) ニュージーランド政府は2015年2月にイスラム過激派組織ISILと闘うイラク軍の能力を高めるため143名の軍人派遣を決定しました。これに関連して、キー首相は「すでにISILはニュージーランドで要員のリクルートに成功しており、またニュージーランド国内では35～40名が監視対象となっている」旨発言しています。

(3) 2015年11月にパリで発生したテロ事件を受け、キー首相は次のように述べています。

「ニュージーランドは他国から地理的に離れていること及びインテリジェンス監視ネットワークに加盟していることもあり、他国と比べ、テロリストから攻撃を受ける脆弱性は低い。しかしながらテロリストの間で行われる精巧な通信技術の高まりにより、その活動を探知することが困難な状況となっており、ニュージーランドがまったく影響を受けないという保障はない。政府はニュージーランド国民に対して、全力を尽くす責任を負っており、異常で不適当と考えるいかなる行動についても監視するが、その全ての情報を得られるという保証はない。」

(4) なお、現在ニュージーランドのテロ脅威度は『とても低い(6段階中下から2番目)』

から『低い（６段階中下から３番目）』に一段階上昇しています。

３ 主な犯罪事案（日本人が巻き込まれていない案件。３月～６月）

（１）３月２０日午後４時頃、オークランド市内ダウントウン・ブリトマートのファーストフード店で大人数による喧嘩が発生し、１８歳と２４歳の男性が病院に運ばれた。警察は事件に関わったとして２名を逮捕。お酒を飲んでの諍いであった模様。

警察は、現場のセキュリティカメラの映像を解析するなどして捜査にあたっている。

（２）数週間前から、留学生をターゲットとした下記のような強盗・傷害事件が多発。警察はこれらの事件に関連して８名を逮捕。

３月２４日、オークランド市 Unitec Institute of Technology 付近にて留学生が襲われる事件が発生。

３月２８日、ニューマーケットにてバッグのひったくり被害に。犯人は１２～１４歳の４人。

３月２９日、オークランド市内のアルバートパークで若い女性２名が襲われ強盗に遭う。

（３）５月１１日１９時前後、オークランド市 Mangere Bridge のバス停でバスを待っていた女性が無名に襲われる。犯人は逃走中であり、警察は市民から目撃情報を収集中。

４ 主な日本人被害事案

場所 オークランド市内 **ゴルフショップ** **被害者** ５０代男性

ゴルフ用品を見ていた際、お店のカウンターに置いていたバッグを強奪された。犯人はつなぎのような服装で工事関係者を装っていたため、警戒心が薄れていた。犯人は店の前に停めてあった車の助手席に乗り込み逃走。運転手は別の男で、グループによる犯行とみられる。財布、パスポート、キャッシュカードなどが被害に。

場所 オークランド市内 **クィーンズストリート** **被害者** ３０代男性

午後２時頃、ベンチに座ってスマートフォンを見ていたところ、足下に置いていた荷物が盗まれた。荷物から目を離したのはほんの１分ほど。財布、パスポートなど貴重品が全て盗まれた。

場所 オークランド **ビクトリアパーク付近** **被害者** ２０代男性

真夜中１時頃、ビクトリアパーク付近を歩いていたところ、何者かに襲われバッグを強奪される。怪我はなかったものの、財布やスマートフォンが被害に。